

研修会報告

令和 6年 2月 27日

文責： 岩木啓太

研修会テーマ「もう一度見直そう 輸血検査の基礎知識」

開催日時 令和 6年 2月 13日（火） 17:45 ～ 19:00

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 31 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 0 名 学生 0 名
合計 32 名

【講演①：認定輸血検査技師試験受験を通して】

講師：東北医科薬科大学病院 長岡裕李 技師

【講演②：消去法マスター 不規則抗体検査の結果が分かるようになる】

講師：東北大学病院 岩木啓太 技師

内容

講演①では、認定輸血検査技師試験を受験し合格した経験を題材として講演いただいた。試験概要から勉強方法や参考図書、実技試験への対策等を具体的に紹介いただいた。実際の受験から、知識を身につけるのに有効な試験だと感じており、合格は現在の業務に対する自信につながっているという内容が印象的だった。また、他施設での研修がカリキュラムに組み込まれており、自施設以外の輸血検査、管理体制について知ることができ、他施設の輸血検査を担っている技師とも交流して学ぶことができる良い機会だったと紹介いただいた。

認定輸血検査技師試験は合格率が低い試験となっているが、私も受験に向けて勉強した知識や技量、取り組んだ時間の日頃の輸血関連業務への還元率は非常に大きいと感じている。輸血検査や輸血管理業務に携わっている方々には、是非挑戦していただきたい試験と考えている。

講演②では、不規則抗体検査の消去法をテーマにし、主に赤血球型検査（赤血球系検査）ガイドラインを参考とした内容で解説した。不規則抗体検査を実施する上で、消去法は必須の考え方となっており、自施設で検査を行っている方々は勿論、検査を外部に委託している施設の方々も検査結果の解釈に重要な知識となっている。近年では、精度管理調査の出題でも消去法を用いて可能性の高い抗体と否定できない抗体を推定する内容が含まれていることがある。考え方として少し複雑な面があるが、考え方の手順を整理しておくことで間違いない結果の解釈ができると考えている。

本研修会の内容が、研修会参加者の日々の輸血検査業務へ少しでも参考になればと願っている。